



パワーネット通信

2019年
2月

第162号



人財採用・定着率アップ いい会社づくりを応援します

『傾聴』は・・・ 最高の人間関係を築く「鍵」

傾聴とは、相手を深く理解しようと「心」を傾けて聴くことです。工作中、手を止めて、「相手の話に耳を傾ける時間なんて、なかなか取れない」って思っている、忙しいあなたにぜひ、使ってほしいコミュニケーションです。

傾聴を実践することで、まわりとのコミュニケーションが促進されて、相手をより深く理解することができます。そして、相手の気持ちに心から共感することで、良好な人間関係を築くことができます。

解決が難しいと思うような人間関係にも効果を発揮します。



パワーネットスタイルで残業ほぼゼロ！

『タイムマネジメント』で生産性アップ！

「タイムマネジメント」の考え方①

毎日の仕事・・・計画を立てて行っていますか？

また、立てた計画は毎日全て終わっていますか？

思ったより時間がかかってしまったり、予定外の急な業務が入って計画していた仕事ができなかったり、なんて経験をされた方も多いと思います。

タイムマネジメントとは「時間を有効に活用し、仕事を効率的に進めて目標達成すること」です。

「時間」というものは止めることができません。そして業務も限られた時間内で終わらせなければなりません。時間を有効に活用するには、一つ一つの仕事の「時間」と「目標」を決めてから、仕事に取り掛かることが重要です。

あなたが実践する傾聴は、相手の悩みや問題の解決に、「答え」を見い出すことができます。

傾聴により育まれる人間関係は、きつとかけがえのないあなたの財産になっていきます。



あなたは、ただ目を見て注意深く聴くだけです。そして話のあいだに、時々、「うんうん」とうなずいたり「そうなんですね」と相槌を打って、集中して聴きます。

終始、相手の話を受け止めてあげる・・・ただそれだけで相手との深い信頼関係を築くことができます。

家族の方や、職場の方とのコミュニケーションに使ってみませんか！
(谷渕ゆきこ)

毎日の仕事を計画通りに完成させるには、「重要な仕事」を最優先で着手することです。

よく、①時間のかかる仕事よりすぐ終わる仕事、②新しい仕事より慣れている仕事、③目の前の着手しやすい仕事をしてしまいがちです。

業務の「重要度」と「緊急度」を考えて、優先順位を決めていくことがもっとも重要です。その優先順位を決めるのにマトリックスという図があります。

4つの枠に、「重要度」と「緊急度」が十字になってふられています。そこから、最優先でやらなければならない「重要な仕事」が見えてきます。

(次号へ続く)

(青山真由美)



社員が健康で幸せに働ける快適な職場づくり

『お正月の恒例行事!鏡開き』



弊社では今月鏡開きを行い、全社員で社長のお手製ぜんざいをいただきました。お正月の恒例行事でもある鏡開きですが、鏡餅を食べることに意味があるということをご存知ですか?お正月が終わり、松の内を過ぎると、お供えている「鏡餅」には歳神様が宿っているそうです。その神聖な「お餅」を刃物を使わずに手や槌などで開き、ぜんざいなどにして食べると、その年を「無病息災」で過ごせるといわれています。鏡餅を「切る」「割る」といった表現を使わないことにも理由があります。鏡開きという行事は武家の文化から始まったということが関係し

ています。そこで「切る」などの言葉は縁起が悪いということで末広がりを意味する「開く」という言葉が使われるようになりました。このように、現代まで続いている日本の伝統的な行事には昔の知恵がたくさん詰まっています。弊社でも毎年1月11日には、会社・社員・社員の家族が無病息災で1年を過ごせるように願いながら、ぜんざいをありがたくいただくことが恒例となっています。普段の食事で健康を管理することも大切ですが、このような昔の方々から引き継いできた伝統行事を重んじることも大切ですね。今後は、このような伝統ある行事を私たち若い世代も引き継いでいきたいものです。

(瀧口千尋)

戦後七十年を超え、核家族化が進み、今では日本人の八十%以上の人が自宅ではなく病院等の自宅以外で亡くなっています。人の死を目の当たりにする機会は薄れ、家族の死を専門職にゆだね、死に接することがなくなつていきます。看取る機会が減り、人が死ぬことを想像するできない、死が身近にあるのに見ようとしない。命は限られた時間であることが誰かが受け入れずにあります。生きる価値を感じ取れない人が増えるのも当然でしょう。死を受け止めるからこそ生が輝き、きちんと生きるということになる。いつか来る自分の最後の旅立ち死を受け容れ、死も人生の一部だと受け止める。過去から脈々と続いてきた命



快読良書

本から学ぶビジネスヒント



最後のありがとう 新・ぼくが葬儀屋さんになった理由 富安徳久著 ワンダーノート 1500円+税

のつながりに感謝する幸せ感を持つて「今」を生きている人が一体どれだけのいるのでしょうか。人は生まれたからには必ず死ぬ。明日という日が来ることはキセキなのです。葬儀業界のあるべき姿、その意義と意味と役割を知り、ブックボックス化されているこの業界の悪しき現状を感じています。著者、自ら葬儀会社を立ち上げ、上場会社にしたのも全国制覇を目指すのも「ティアイズム」を日本中に広げるといって、よい多くの人を喜ばせる夢を実現するためののです。感動しました。あなたにおすすめるの本です。ぜひ、一読を。代表 谷淵陽子



株式会社パワーネット ～人と企業の幸せをつなぐ地域創造企業～

- ・事業内容：■正社員紹介事業
- リーダー研修・生産性向上研修事業
- 業務を効率化するアウトソーシング事業

・所在地：〒763-0033 香川県丸亀市中府町一丁目19番地1

・連絡先：電話 0877-58-0540 FAX 0877-58-0541
Email info@zinzai.net

四国でいちばん大切にしたい会社大賞 受賞

【表彰理由】

- ◎地元企業に子育て女性が定着しやすく働きやすい職場づくりを支援
- ◎残業ほぼゼロ、有給休暇取得率90%以上を実現



←弊社ホームページはこちら♪

☆子育て行動計画策定企業に認定されました☆



ご用命の折は、ぜひご一報ください。後悔はさせません。